

# 当社製品を安全にご使用いただくために、取り付け、施工やお手入れにあたっては、次のことにご注意いただきますようお願いいたします。

## アルミ製品の取り付け・施工のご注意

- 銅・鉄等の異種金属(ステンレスは除く)とアルミ製品が、直接接しないようにしてください。接触する場合は、ビニールテープを巻くか塗料を塗るなどの絶縁処理をしてください。
- 塩素イオン等の腐食成分を多く含む輸入木材の併用は避けてください。使用する場合には、アルミと接触する部分の木材に塗装をしてください。
- 塩分が多量に含まれている海砂を使用したモルタルは、腐食の原因となります。使用を避けるか、海砂を十分に水洗いしてから使用してください。
- 強アルカリ性のモルタルやコンクリートの抽出液は、シミ・ムラ・変色腐食の原因となります。アルミ製品の表面に流れないようにしてください。又、モルタルやコンクリートの急結剤も腐食の発生や促進作用があるので、使用を避けるか、塩化カルシウムや塩素系の化合物及び珪酸ナトリウム等の入っていないものをお使いください。
- モルタルやコンクリートが、施工時に、アルミ製品の表面に付着した場合は至急洗い流してください。
- 施工時に接着剤や化学製品を使う場合、アルミ製品に直接接しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
- アルミ製品の表面に傷がつくと、腐食の原因になりますので、十分注意してお取り扱いください。
- 製品の切り口に切断時のバリが残っていることがありますので、取り扱いには十分注意し、手や肌にケガをしないようにお気をつけください。
- アルミ製品は熱伝導率が高いため、温度差により伸縮します。
- 気温や環境の温度差により伸縮しますので、施工時にはその点を考慮してください。
- みだりに改造及び変更はしないでください。ビスなどは弊社のアイテムをお使いください。オプション品など他社の製品を使った場合、不具合が生じる場合があります。
- 組立の際、所定のボルト・ビス等を確実に締め付けてください。締め付け不良は事故の原因になる場合があります。設置後はビス・ボルト類がしっかり締めつけられているか確認してください。
- アルミ支柱等の設置は、支柱内部の異常腐食や凍結による破損を防ぐため、支柱内部にモルタルや水が入らないように行ってください。支柱用の穴に支柱を差し込んでからモルタルを入れてください。支柱に水抜き孔を開け水を抜くことも有効な方法です。
- 製品の施工は、危険が伴ったりする場合がありますので専門の工事業者による施工をお願いします。
- アルミ製品などエクステリアの商品は、夏季、長時間直射日光にさらすと、商品が高温になり、肌などに触れると外傷の原因になる場合がありますのでご注意ください。
- 製品に給湯器や暖房機などの排気ガスが直接あたらないように施工してください。高温、高熱や排気ガスによる変形・劣化のおそれがあります。
- 製品は避難通路の妨げになる所や、設置することで事故等が予想される場所には設置しないでください。
- アルミ製庭門や扉セットの扉は開閉時公道にはみ出さない位置に設置してください。施工完了後は必ず不具合がないか確認の上で使用ください。

## アルミ製品の使用上のご注意

- アルミ縦格子などアルミ製フェンス類は防護柵や手すりとしては使用しないでください。崖上や高台などでの転落防止柵や高所、非常に風当たりの強い場所には設置出来ません。

- 製品に局部的に荷重をかけないでください。破損する場合があります、ケガをする危険性もありますのでご注意ください。
- フェンスや藤棚など商品に上ったり、揺すったり、ぶらさがったり、寄りかかったりしないでください。また、ボールなどを投げつけないでください。ケガをする危険性があります。
- 遊具や踏み台、脚立など目的以外に使用をしないでください。
- フェンスの上に洗濯もの、布団、雨具などを乗せないでください。
- 安全保守のため定期的にボルト、ナット、ビス等のゆるみぐあいなど、また、基礎部の取付状況などに異常がないかご確認ください。
- 錆を防ぐには、年に1~2回の水洗いのお手入れが有効です。



## アルミ製品のお手入れについて

アルミニウムはサビにくい性質を持った維持費の少ない素材です。しかし、腐食の大きな原因は大気中にあります。表面に付着した煤煙や砂、汚れなどを放置しておきますと、化学作用等で腐食やシミの原因となります。いつまでも美しくお使いいただくために定期的なお手入れをおすすめします。

### 【通常のお手入れ】

- 日常の汚れは、柔らかい布で拭き取ってください。
- 年に1~2回水洗いをしてください。(海岸地帯や工業地帯等汚れがひどい場合は状況に応じて水洗いの回数を増やしてください)

### 【軽い汚れの場合】

- 水で濡らした布などで拭いたあと、乾拭きしてください。

### 【ひどい汚れの場合】

- 中性洗剤を水で薄めたものを布などに付けて表面の汚れを取り、洗剤が残らないように水洗いをしたあと、ていねいに乾拭きしてください。

### 【著しい汚れの場合(サビが出ている場合)】

- 中性洗剤を付けたナイロンたわし、または目の細かい紙ヤスリで汚れやサビを取り除きます。その後水洗いしてから、ていねいに乾拭きしてください。

### ※お手入れの注意事項

- お手入れや美装には、柔らかい布やスポンジをご使用ください。
- 金属ブラシ、金ペラ、スティールウール、目の粗い紙ヤスリなどは傷の原因になりますので、使用しないでください。
- 洗剤は中性洗剤を使用してください。ガラスクリーナー、アルコール、ベンジン、アセトンなどの有機溶剤を含む洗剤や石油類は使用しないでください。
- 小石や砂利が付着したまま表面をこすると、傷がつきます。あらかじめ取り除いてください。

## エイコー・プラ製品取り付け・施工のご注意

- エイコープラ製品はAS系樹脂製品ですので、他の金属材料に比べて熱変形温度が低く、高温になる場所では変形するおそれがあります。又、たき火など、製品の近くでの火の使用は避けください。
- 製品に給湯器や暖房機などの排気ガスが直接あたらないように施工してください。熱や排気ガスによる変形・変色・劣化のおそれがあります。
- 積雪の多い地域や風圧の強い場所、また、地盤の弱い場所に施工する場合は、控柱などの補強システムが必要な場合があります。別途ご相談ください。
- エイコー竹垣・板垣などのフェンス類を強風地域や風が集中しやすい場所、風当たりの特に強い場所などに施工する場合は、強風による破損が起き飛散事故につながる恐れがありますので、柱の追加設計を行ったり、補強システム(多層構造の支柱)や控え柱などを使用して施工してください。
- 製品の切り口に切断時のバリが残っていることがありますので、取り扱いには十分注意し、手や肌にケガをしないようにお気をつけください。
- 施工後の残材は他の一般廃棄物とは一緒にせず、素材別に選別した上で業者に処理をお任せください。
- エイコープラ製品をハンマーで叩いたりハシゴをかけたりして、一点に衝撃を加えますと、破損事故の原因になりますので絶対にしないでください。
- エイコープラ製品は、温度差により伸縮しますので、ご注意ください。施工時にはその点を考慮してください。
- 製品は避難通路の妨げになる所や、設置することで事故等が予想される場所には設置しないでください。

## エイコー・プラ製品の使用上のご注意

- 製品に局部的に荷重をかけないでください。破損する場合があります、ケガをする危険性もありますのでご注意ください。
- 製品に上ったり、揺すったり、ぶらさがったり、寄りかかったりしないでください。また、ボールなどを投げつけないでください。ケガをする危険性があります。
- 遊具や踏み台、脚立など目的以外に使用をしないでください。
- エイコー竹垣・板垣などのフェンス類の上に洗濯もの、布団、雨具などを乗せないでください。
- 安全保守のため定期的にボルト、ナット、ビス等のゆるみぐあいなど、また、基礎部の取付状況などに異常がないかご確認ください。
- 製品の近くで火気を使わないでください。
- エイコープラ製品は、AS系樹脂を素材にした製品です。製品の汚れは水で洗い落としてください。汚れがひどい場合には中性洗剤を使用し、その後は水で十分に洗い落としてください。また、消毒液がかかった時には速やかに水洗いしてください。そのまま放置すると製品が変色、変形するおそれがあります。ガソリン、シンナー等、石油系溶剤や薬品等のご使用は避けてください。
- 製品の近くで農薬等薬品を散布する場合は製品にかからないようにしてください。かかった時は速やかに表面を洗浄してください。放置すれば変色等の恐れがあります。

**エイコー竹垣・エイコー板垣・アルミフェンス等の設置上のご注意**  
 海辺・屋上、高台、その他特に風の強い場所、または垣根高さが1800mm以上で設置する際は、控え柱及び多層構造の支柱を使用するようおすすめいたします。詳しくは当社までご相談ください。

- 経年劣化を防ぐには、年に1~2回水洗いのお手入れが有効です。
- ※エイコー竹垣・板垣などのフェンス類にはアルミ製の形材が含まれます。アルミ支柱等アルミ製品の注意事項等については左のページをご覧ください。

## エイコー・プラ製品のお手入れについて

- 樹脂製品の腐食を防止するには、定期的な水洗いが有効です。樹脂の表面に付着した汚れを長期間そのままにしておくことと変色などの腐食の原因になります。いつまでも美しくお使いいただくために定期的なお手入れが大切です。
- 日常の汚れは、柔らかい布で拭き取ってください。
  - 年に1~2回水洗いをしてください。(海岸地帯や工業地帯等汚れがひどい場合は状況に応じて回数を増やしてください)
- 【軽い汚れの場合】**
- 水で濡らした布などで拭いたあと、乾拭きしてください。
- 【ひどい汚れの場合】**
- 中性洗剤を水で薄めたものを布などに付けて表面の汚れを取り、洗剤が残らないように水洗いをしたあと、乾拭きしてください。

### ※お手入れのご注意

- お手入れには、布やスポンジなど柔らかいものをご使用ください。
- 金属ブラシ、金ペラ、スティールウール、目の粗い紙ヤスリなどは傷の原因になりますので、使用しないでください。
- 洗剤は中性洗剤を使用してください。ガラスクリーナー、アルコール、ベンジン、アセトンなどの有機溶剤を含む洗剤や石油類は使用しないでください。腐食、変形や割れの原因となります。
- 殺虫剤などのスプレーは吹き付けしないでください。
- 小石や砂利が付着したままこすると、傷がつきます。取り除いてください。

## エイコー・プラ杉板よしの製品のお手入れについて

- 長期間洗浄をしないで放置すると、表面の凹凸に汚れ(シミやカビ)が入り込み、斑点の原因となります。このような場合、中性洗剤では汚れが落ちにくくなります。このような場合は、台所用漂白剤(次亜塩素系漂白剤)をご使用ください。
- 洗浄の方法**
- ①製品を水洗いする
  - ②表面に水分が残った状態で漂白剤を噴霧する
  - ③数分間放置後(漂白剤噴霧後は長時間放置しないでください。変色する恐れがあります)、漂白剤を完全に洗い流す。(アルミ支柱にかかった漂白剤なども完全に洗い流す)

### ※お手入れのご注意

- 漂白剤の使用は、漂白剤に記載されている注意事項を必ず守ってください。
- 漂白剤や洗浄した水が植栽にかからないようご注意ください。